



与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

3月号

令和7年2月28日

さいたま市立与野本町小学校

お辞儀

校長 小野圭司

「子どもを見守り隊」のある方から、「以前、さようならのあいさつをする時にていねいにお辞儀をしてくれる子がいると話しましたが、最近はそのお辞儀が周りの子にも広がっています」との嬉しい声を聞かせていただきました。

「お辞儀」というと、あいさつや感謝、敬意などを示すために腰を折り曲げる動作ですが、「さようなら」の声に合わせてのあいさつとして、また、「いつも自分たちを見守ってくれてありがとう」という感謝を示すために、さらに、自分よりも年齢が上の方（大人）への敬意を示すために、などでお辞儀をしているのではないかと思います。「子どもを見守り隊」のその方は、1年生でもこのような対応が自然とできていることに、そしてそれが更に広がっていることに感心し、私に嬉しそうに話をしてくださいました。

私自身も朝のあいさつの時にお辞儀をしてくれる子がいることに気付き、お話朝会の折りに話題としたこともありましたが、少し前のコロナ禍では元気なあいさつを控えている時に、確かにお辞儀（会釈）をしている子が多かったなあと思い出しました。また、今の子どもたちは学校内では元気なあいさつができて、学校外では防犯面や恥ずかしさなどでなかなかあいさつができないという声も聞いていましたので、地域の方々にはしっかりとお辞儀をしていることに驚きましたし、大変嬉しく思いました。

前月の学校だよりでお伝えしましたが、「本校の子どもたちに身に付けさせたい力」について子どもたち対象のアンケート調査を実施したところ、次のような結果でした。

	「自分で考えて行動する力」 が身に付いていると思うか	「思いやりや感謝する心」を もっていると思うか
そう思う	41%	52%
どちらかといえばそう思う	47%	41%
どちらかといえばそう思わない	9%	5%
そう思わない	3%	2%

この結果を見ると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な評価が90%程度であるため、子どもたちがこの2つの力をもとに概ね身に付けていることが分かりました。この結果を私たち大人が、数値が高くて素直に良かったと捉えるのか、または、子どもたちの自己評価が少し甘いのではないかと捉えるのかは、今後もこの2つの力を子どもたちが身に付けていけるよう指導・支援を継続していく中で、明らかになっていくのではないかと考えています。また、先述の「お辞儀」についても、「感謝する心」をもって「自分で考えて行動」した成果とも捉えられるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き、この2つの力が本校の子どもたちに身に付いているか意識していただくとともに、「お辞儀」の様子が見られた際にもこの2つの力が関係しているのではないかなどを思い出しながら、子どもたちに接していただければと思います。よろしくお願いいたします